

令和4年度 出資法人経営評価表

法人名	滋賀県道路公社
-----	---------

1 人員、県の人的関与の状況

(単位：人)

①役員の状況		R2年度	R3年度	R2→R3増減	R4年度			
理事総数		3	3		3			
	うち県職員（特別職を含む。）	1	1		1			
	うち県退職職員（OB）	2	2		2			
	うち常勤役員数	3	3		3			
	うち県職員（特別職を含む。）	1	1		1			
	うち県退職職員（OB）	2	2		2			
監事総数		2	2		2			
	うち県職員（特別職を含む。）							
	うち県退職職員（OB）							
	うち常勤監事数							
報酬額・年齢								
常勤役員の平均年齢		61.7	61.3	△ 0.4	61.7			
常勤役員の平均報酬（年額）（千円）		5,148	5,029	△ 119	5,194			
役員の報酬総額（年額）（千円）		15,495	15,168	△ 327	15,664			
②職員の状況		R2年度	R3年度	R2→R3増減	R4年度			
職員総数		36	36		35			
	常勤職員	30	30		32			
	プロパー職員	8	8		8			
	うち県退職職員（OB）	4	4		4			
	県等からの派遣職員	15	14	△ 1	15			
	うち県派遣職員	14	14		15			
	臨時・嘱託職員	7	8	1	9			
	うち県退職職員（OB）							
	非常勤職員	6	6		3			
	うち県派遣職員							
うち県退職職員（OB）	3	4	1	2				
プロパー職員の平均年齢		57.9	58.9	1.0	59.9			
プロパー職員の平均給与（年額）（千円）		3,799	3,710	△ 89	4,313			
職員の給与総額（年額）（千円）		104,836	101,310	△ 3,526	111,968			
プロパー職員の年代別職員数		10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
(令和4年度当初実数)						4	4	8

2 県の財政的関与の状況

(単位：千円)

項 目		R2年度	R3年度	R2→R3増減	R4年度	備考(R4内訳)
県からの 年間 収入額	補助金	事業費補助金				
		運営費補助金				
	委託料					
	その他					
補助金等合計						
年度末 残高	県からの借入金					
	県からの損失補償・債務保証					
短期貸付金の金額（期間中の県からの借入れで、同一年度に貸付けと返済の双方が行われるもの）						

3 評価

区分	評価項目	評価内容	該当項目に○			出資法人の所見	県の所見
			R1	R2	R3		
効果性	中期経営計画、年度目標の策定	中期経営計画、年度目標とも策定している。	○	○	○	琵琶湖大橋有料道路第6期事業については、概ね中期経営計画の目標どおり工事が進捗しており、特に大津側の4車線化重点整備区間においては、用地の進捗に合わせ全6工区中5工区で工事に着手した。 琵琶湖大橋本体の耐震化については、関係者と協議中であり、工事着手には至っていないが、今後も引き続き交渉を進めていく。 公社の事業は、交通の円滑化を通じて県民の福祉の増進および経済活動の発展に寄与することであり、今後とも中期経営計画に定めた成果目標を達成することで、管理する有料道路等の機能維持・向上を図っていく。	・中期経営計画および年度目標が的確に実施されるよう求めていく。
		中期経営計画のみ策定している。					
	事業活動の社会情勢への適合性	年度目標のみ策定している。					
		策定していない。					
		全ての事業が社会情勢に適合し、その意義は大きい。	○	○	○		
活動の成果の達成度	社会情勢に照らして意義が薄れてきた事業がいくつかある。						
	社会情勢に照らして意義の薄れてきた事業が多くある。						
	活動について成果目標を定め、目標以上に達成している。						
	活動について成果目標を定め、目標どおり達成している。	○	○	○			
住民、関係者等のニーズの把握状況	活動について成果目標を定め、達成しているものもあるが、十分ではない。						
	活動について成果目標を定めていない。						
	多様な調査を実施し、積極的にニーズの把握に努めている。	○	○	○			
効率性	経常費用に占める管理費の状況	ニーズを把握するための手段を講じている。	○	○	○	令和2年度と比べ管理費率が減少した要因は人件費の減少であり、今後とも、効率的な運営を図るため、事業規模に応じた適正な人員配置に基づく体制見直しに努めていく。	・公社の事業規模に応じた適正な人員配置となるよう引き続き効率的な管理運営を求めていく。
		具体的な取組はしていない。					
		管理費比率が2期連続で減少した。			○		
	経常収益・費用の比率	管理費比率が前期に比べ減少した。					
		管理費比率が前期に比べ増加した。	○	○			
健全性	債務超過の状況	管理費比率が2期連続で増加した。				当期純利益については2期連続して微減となっているものの、すべての財務指標において、経営の健全性を確保できている。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大津港駐車場は令和2年度以上に利用者数が落ち込んだものの、琵琶湖大橋の通行台数はコロナ前の水準まで回復してきている。	・健全な財務状況が確立できている。引き続き健全な財務状況が確保できるよう、適時適切な指導・助言を行っていく。
		経常収益が2期連続で経常費用を上回った。	○	○	○		
		経常収益が、当期は経常費用を上回った。					
	当期純利益の状況	経常収益が、当期は経常費用を下回った。					
		経常収益が、2期連続して経常費用を下回った。					
		2期連続で増加した。	○				
累積欠損金の状況	前期に比べ増加した。						
	前期に比べ減少した。		○				
	2期連続で減少した。			○			
	当期末において累積欠損金はない。	○	○	○			
短期的支払い能力の状況	累積欠損金は、2期連続で減少した。						
	累積欠損金は、前期に比べ減少した。						
	累積欠損金は、前期に比べ増加した。						
	累積欠損金は、2期連続で増加した。						
借入金依存率の状況	流動比率は、2期連続で100%以上であった。	○	○	○			
	流動比率は、当期は100%以上であった。						
	流動比率は、当期は100%未満であった。		○				
	流動比率は、2期連続で100%未満であった。						
	当期末において借入金はない。	○	○	○			
	2期連続で低下した。						
	前期に比べ低下した。						
	前期に比べ上昇した。						
	2期連続で上昇した。						

区分	評価項目	評価内容	該当項目に○			出資法人の所見	県の所見		
			R1	R2	R3				
自立性	知事・副知事の代表者への就任状況	知事・副知事が法人の代表者へ就任していない	○	○	○				
		知事・副知事が法人の代表者へ就任している							
	県派遣職員の状況	当期末において県派遣職員はない						琵琶湖大橋有料道路第6期事業の円滑な推進のためには、プロパー職員が減少している状況において、県からの人的・技術的な支援が不可欠であり、県との連携を密にして、事業進捗に応じた体制維持に努める。	琵琶湖大橋有料道路第6期事業の推進には、プロパー職員のみでの対応では困難であり、人的・技術的支援の継続は、やむを得ないものと考えている。
		常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ低下した。	○	○					
		常勤職員に占める県派遣職員の割合は前期と概ね同程度			○				
		常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ上昇した。							
	県退職職員の就任状況	当期末において県退職職員はない							
常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ低下した。			○						
常勤職員に占める県退職職員の割合は前期と概ね同程度				○					
常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ上昇した。		○							
県財政支出の状況	当期末において県の財政支出はない。	○	○	○	県財政支出、短期貸付および損失補償・債務保証ともなく、自立的な経営を推進している。	県からの財政支出もなく、外部からの借入金もないため県の損失補償等の必要もない。財務的には極めて自主性の高い経営を実現している。			
	経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で低下した。								
	経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ低下した。								
	経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ上昇した。								
	経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で上昇した。								
短期貸付金の金額(期間中の県からの借入れで、同一年度に貸付けと返済の双方が行われるもの)の状況	当期間中において県の短期貸付けはない。	○	○	○					
	県の短期貸付けの額が2期連続で減少した。								
	県の短期貸付けの額が前期に比べ減少した。								
	県の短期貸付けの額が前期と同額である。								
	県の短期貸付けの額が前期に比べ増加した。								
損失補償の状況	当期末において県の損失補償・債務保証はない。	○	○	○					
	県の損失補償・債務保証の額が2期連続で減少した。								
	県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ減少した。								
	県の損失補償・債務保証の額が前期と同額である。								
	県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ増加した。								
透明性	情報公開規程の整備状況	規程を整備している。	○	○	○	財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導や助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織体制および活動内容について、公社で運営するホームページ上に掲載し、情報提供に努めている。	引き続き外部の監事による監査の結果を踏まえた財務状況の開示等、透明性の確保に努めるよう、指導していく。		
		規程を設けていない。							
		規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。							
	情報公開の実施状況	ホームページ等により不特定の者に対し情報公開を行っている。	○	○	○				
		不特定の者に対し情報公開を行っていない。							
	文書管理規程の整備状況	規程を整備している。			○				
		規程を設けていない。							
		規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。							
	文書管理の実施状況	情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っている。			○				
		情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っていない。							
	会計専門家の関与状況	作成した財務諸表について、会計監査人監査を受けている、または、財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けている。	○	○	○				
		会計の専門家による監査・指導・助言等は受けていない。							
業務監査の実施状況	業務監査を実施している。	○	○	○					
	業務監査を実施していない。								

	出資法人の総合的評価・対応		県による総合的評価・対応	
事業に関する事項	<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大津港駐車場は前年度以上に利用者数が落ち込んだものの、琵琶湖大橋の通行台数はコロナ前の水準まで回復してきている。</p> <p>琵琶湖大橋有料道路第6期事業については、4車線化にかかる大津側の重点整備区間において用地取得の進捗に合わせ、全体6工区のうち5工区の拡幅工事に着手し、十分な成果をあげることができている。</p> <p>大津港駐車場については、1日最大料金の設定やプリペイドカードの導入など様々な収支改善対策を講じてきたが、利用者の増加や収支の抜本的な改善にはつながっていない状況にあり、早期償還についても、県との協議を加速化させ速やかに方向性を示していく。</p>		<p>・琵琶湖大橋有料道路第6期事業については、順調に事業進捗が図られている。</p> <p>・大津港駐車場については、今後の駐車場事業の方向性について、早期償還も含め道路公社や関係機関等と速やかに協議を進めていく。</p>	
財務に関する事項	<p>財務状況は良好であるが、第6期事業がこれからピークを迎えるため、計画的な進捗と既存施設の維持管理等の効果的な実施により、健全な財務状況の維持に努めていく。</p>		<p>・良好な財務状況を維持できるよう、施設の修繕や維持管理についても協議を行っていく。</p>	
行政経営方針実施計画に関する事項 ※実施計画は次頁参照	<p>琵琶湖大橋有料道路第6期事業の耐震対策については、早期に工事着手できるよう、関係機関や団体との交渉に努めていく。また、琵琶湖の漁業資源にかかる環境負荷低減のため、事業計画の見直しについても検討を行う。</p> <p>大津港駐車場については、上記同様、早期償還を含めて方向性が決まるよう協議を行っていく。</p> <p>「道路公社中期経営計画」に基づく取組についても、概ね計画どおり進捗している。</p>		<p>・琵琶湖大橋有料道路第6期事業の実施を含め利用者へのサービス向上、健全経営の維持、強固な経営基盤の確立のため、技術的支援等を行う。また、行政経営方針実施計画に基づく取り組みが着実に実施されるよう必要な協力を行う。</p>	
	実施計画に定める「具体的な取組内容」の進捗状況		実施計画に定める「具体的な取組内容」の進捗状況	
	<p>1. 琵琶湖大橋有料道路第6期事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度予定であった事業計画の見直しを前倒しで行った。 ・国道477号4車線化拡幅工事については、大津側の新宿橋の工事が滞りなく進められており、その他の工事区間についても計画どおり順調に進んでいる。 ・琵琶湖大橋基礎部耐震対策については、関係団体との交渉に時間を要しているため、工事着手には至っていない。 <p>2. 長寿命化計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖大橋以外の橋については修繕工事が完了。 <p>3. 大津港駐車場の収支改善の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善に取り組んできたが、抜本的な改善にはつながらない状況にある。このため、駐車場事業のあり方について、県および大津市と協議を進めている。 		—	
	実施計画に定める目標		実績	
令和3年度末時点		令和3年度末時点		
1. 大津港駐車場の収支改善策の検討・実施		1. SA配布パンフレット「わおマップ！」への掲載、近畿ブロック道路公社連携周遊プランの検討(いずれも継続事項)		
—		—		

総合所見	<p>管理する有料道路および駐車場の改築や維持管理を適切に行うことにより、基幹道路交通の円滑化を図るなど、県の道路行政の一端を担うとともに、県民生活の向上と経済活動の発展に役割を果たしている。</p> <p>引き続き、効果的な改築と良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供と、利用者ニーズに対応したサービスに努めるとともに、料金徴収期間内に建設費を償還していく。</p> <p>なお、プロパー職員が減少している状況において、琵琶湖大橋有料道路第6期事業の円滑な推進を図るためには、県の人的・技術的支援が不可欠であり、県との協議や連携を緊密にしていく。</p>	<p>管理する有料道路および駐車場の改築、維持管理を行うことにより、基幹道路交通の円滑化を図るなど、県の道路行政の一端を担うとともに、県民生活の向上と経済活動の発展に役割を果たしている。</p> <p>琵琶湖大橋有料道路第6期事業の円滑な実施に向けて、人的・技術的支援等で連携を密にしていく。</p>
------	---	--

【参考資料】

財務諸表等へのリンク

<http://www.shiga-dourokousha.or.jp/annai/index.html>

※行政経営方針実施計画

21 滋賀県道路公社【担当部課(局・室)名:土木交通部道路課】

基本的な考え方 (現状認識・今後の方向性)	当公社は、有料道路等を借入金で建設し、供用後は利用者からの料金で維持管理をしている。このため、良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供と、利用者ニーズに対応したサービスに努めるとともに、料金徴収期間内に建設費を確実に償還していく。					
具体的な取組内容	(2018年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目 標
1 琵琶湖大橋有料道路第6期事業の着実な実施に取り組む。【出資法人】	ETCの整備 →	4車線化拡幅(用地の取得促進、工事の実施) →			→	・琵琶湖大橋有料道路第6期事業 事業計画の見直し 2022年度末
		基礎工耐震補強 工事の実施 →			→	・長寿命化計画の見直し 琵琶湖大橋 2021年度末 その他の橋梁 2019年度末
				事業計画の評価・見直し →	→	
2 良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供に取り組む。【出資法人】	長寿命化計画に基づく効率的・効果的な修繕の実施 →					・大津港駐車場の収支改善策の検討・実施 2022年度(継続)
	長寿命化計画の見直し (その他の橋梁) →	長寿命化計画の見直し (琵琶湖大橋) →			→	・次期中期経営計画の策定 2019年度末
3 大津港駐車場の利用促進等による収支改善に取り組む。【出資法人・県】	収支改善策の検討・実施 →					
4 次期中期経営計画を策定する。【出資法人】	次期中期経営計画の策定 →		次期中期経営計画に基づく取組の実施 →			